

令和4年度

大東市安心・いきいきネット相談支援センター
活動報告書



大東市コミュニティソーシャルワーカー協議会

令和5年6月作成

もくじ

活動報告書を発行するにあたり	1
CSW（コミュニティソーシャルワーカー）とは	2
令和4年度 活動実績	3
令和4年度 個別相談件数	5
令和4年度 実人数割合件数	6
おわりに 各事業所より	7 8

活動報告書を発行するにあたり

近年、核家族化に伴う単身世帯や高齢者のみの世帯の増加が進み、住民同士の社会的なつながりが希薄化しています。さらに、高齢者の「孤独死」や高齢者・障害者・児童への虐待、制度の狭間において困窮している人など、公的な福祉サービスだけでは対応できない地域における福祉や生活に関する課題も増えています。このような課題の多様化、複雑化により、1つの支援機関だけでは解決することが困難な複合的な課題を抱える人が増えています。また、コロナ禍の経験を踏まえ、孤独・孤立にどのように取り組むかということも顕著になりました。

大東市ではこういった課題に対応できる体制を構築するため、平成16年にコミュニティソーシャルワーカー（以下、CSW という）を住道中学校区へ配置したことを皮切りに、平成17年度には全中学校区に配置し、市、民生委員児童委員、校区（地区）福祉委員、社会福祉協議会、地域包括支援センター、CSW、自治区など、関係機関で情報を共有し、既存の福祉サービスだけでは対応困難な課題解決のため、地域における見守り・発見・つなぎ機能の強化を図ってきました。

その後、平成29年度には、きめ細やかな地域支援活動ができるように、小学校区へ変更になりました。

本活動報告書は、CSW が令和4年度に地域で活動した事柄を掲載しております。過去の活動報告書とともにご覧下さいますと、CSW の活動について、さらに理解を深めていただけると存じます。CSW の現状の活動が多くの方々に周知され、ご理解いただけることを望むと共に「あふれる笑顔 幸せのまち大東づくり」への一歩になれば幸いです。

令和5年6月

大東市福祉・子ども部福祉政策課

ご存知
ですか？

安心・いきいきネット 相談支援センター



だいとうし しなしょうがっこうく あんしん そうだんしんえん せっち
大東市では、市内小学校区ごとに【安心・いきいきネット相談支援センター】を設置して
コミュニティソーシャルワーカー（CSW）と呼ばれる相談員を置いています。

CSW（コミュニティソーシャルワーカー）とは

福祉の専門職で、地域の身近な相談員です。

年齢や内容を問わず、さまざまな困りごとや悩みごとの相談に応じます。

例えば

- どこに相談したらいいか、わからない
- 生活が苦しい ●家が片付かない
- 子供が働かない ●引きこもっている
- 近所に気になる、心配な方がいる
- 子育てがしんどい
- 介護保険を使いたい



相談の流れ

★電話や訪問でお話を伺います

★解決方法を一緒に考えます

★制度やサービスの紹介、必要に応じて
専門機関におつなぎします



相談は無料、秘密は厳守いたします
どちらにご連絡いただいても連携をとり引継ぎ
させていただきます

各 安心・いきいきネット相談支援センター（相談受付時間は事業所ごとで異なります）

小学校区	事業所名	住所	電話番号
北条	NPO法人ほうじょう	北条3-10-5 北条人権文化センター内	862-3212
四条	NPO法人大東野崎人権協会	野崎1-24-1 野崎人権文化センター内	879-8810
四条北・深野	NPO法人あとからゆっくり	南津の辺町2-21	813-7595
住道北・三箇	慶生会住道	三住町2-7シティワース201号	806-2880
泉・住道南	大東市社会福祉協議会	新町13-13	874-1082
灰塚			
氷野・南郷	暮らしいきいき館	御領1-12-1 川村義肢株式会社内	875-8046
諸福	ホーリーハート大東	赤井3-5-11	874-1661

とりまとめは大東市福祉・子ども部福祉政策課

☎072-870-0435

1.地域福祉の計画的な推進

【1】市町村地域福祉計画の支援 【3件】

CSW が市町村地域福祉計画の策定及び将来の改訂にあたり市町村に行った情報提供

【2】地域住民活動のコーディネート等

① 住民懇談会の開催 【19件】

CSW が主となり開催した地域での困りごとや課題、要援護者の見守りや発見のための情報交換を行った

② 住民活動のコーディネート 【295件】

地域の集いの場※1 へ出向き、要援護者の見守りや情報共有を行った

※1 ふれあいサロン 子育てサロン 高齢者サロン

世代間交流イベント 地域交流会 介護者家族の会 等

③ 要支援者等の組織化支援 【5件】

住民グループの立ち上げにあたり、課題の聞き取り、助言、申請支援を行った

④ 既存の公的サービス等との協働（つなぎ） 【247件】

市内外関係機関との連携、情報の共有、会議への参加を行った

～連携した関係機関～

地域包括支援センター、大東市社会福祉協議会、行政、介護保険サービス事業所、居宅介護支援事業所、保健所、医療機関、保育園、幼稚園、小学校、中学校、SSW、ハローワーク、障害者相談支援事業所 等

⑤ 研究・開発した新たなサービス 【4件】

地域において、要援護者等の支援に有用なサービスを研究・開発した

2. 要支援者に対する見守り・相談・つながりのセーフティネット体制づくり

① ケース検討会の開催

【35件】

特に困難な支援ニーズ及び複数の機関等による連携が求められる事例に関して、ケース検討会を行った

② 地域住民等を対象とする研修会の開催

【13件】

CSW が主となり、各種の保健福祉サービスをはじめとした資源の利用方法などの情報提供や地域の課題と思われるテーマに関して研修会を行った

③ 各種サービスの利用申請支援

【50件】

公的サービスや民間サービス、ボランティア等の利用申請に関する支援を行った



サロン活動の様子(ホーリーハート大東)



空き家を活用した地域活動の紹介(あとからゆっくり)



ネットワーク全体会議(西部地区)



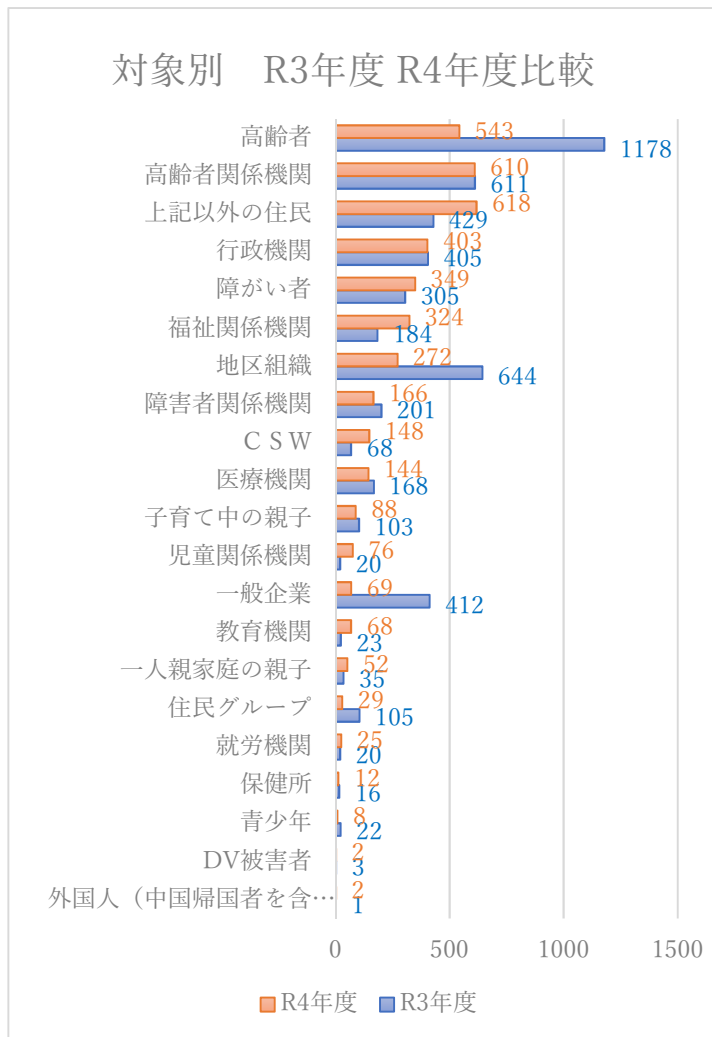
野崎まつりでのCSW相談会(あとからゆっくり・慶生会)

令和4年度 個別相談件数

～相談対象者と主な相談内容について～

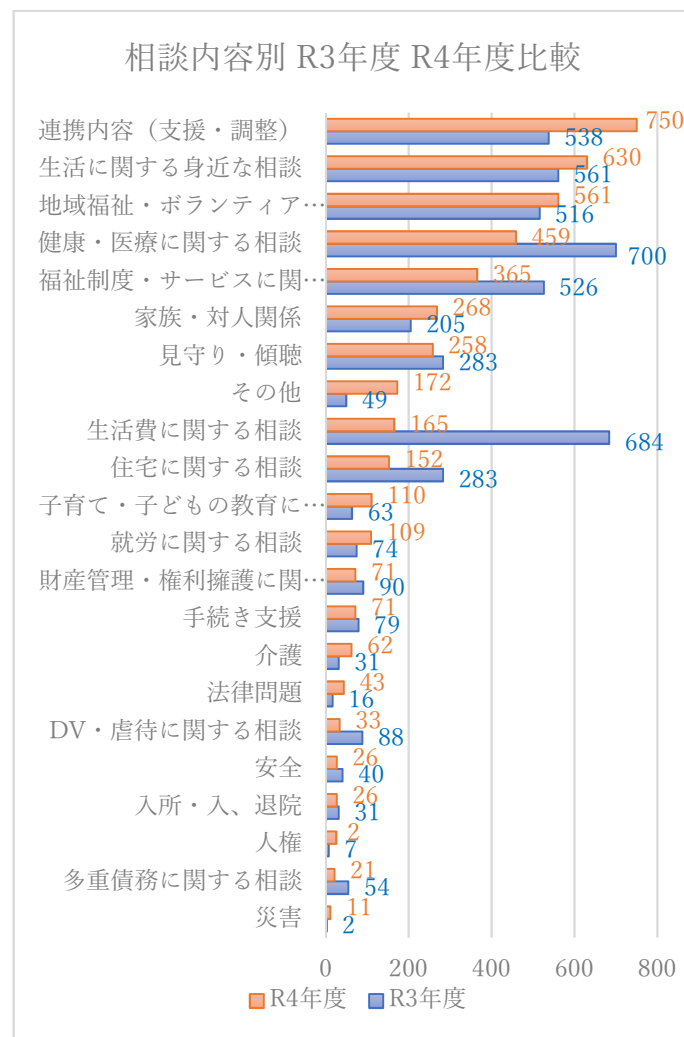
① 相談対象者件数

【計のべ 4008 件】



② 相談内容件数 (同一者複数回を含む)

【計のべ 4398 件】



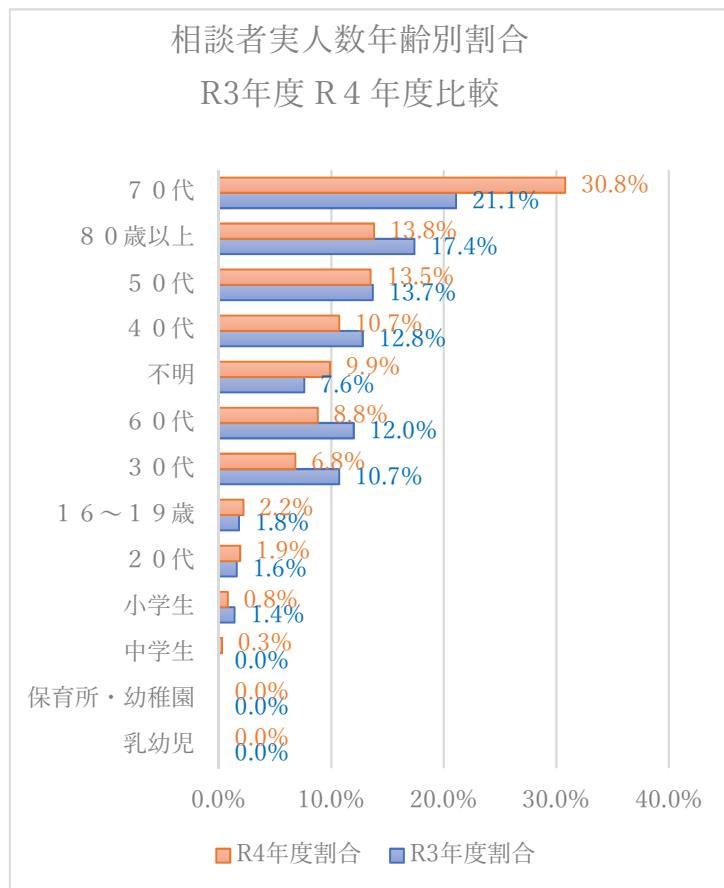
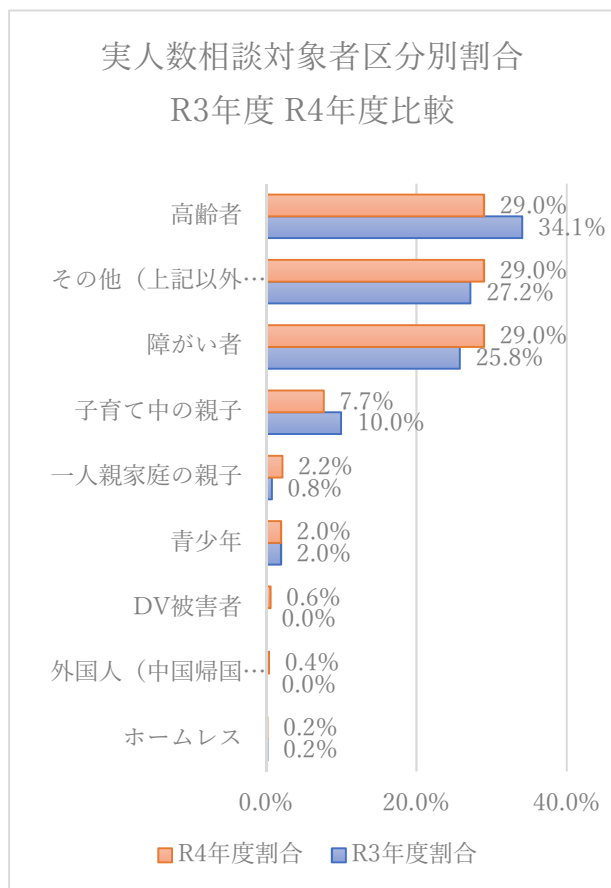
新型コロナの弱毒化やワクチン接種が行き届き、各地区イベントや、高齢者サロンなどが徐々に再開され始めた1年と言える。

CSWの活動も少しずつ正常化したが、相談件数は昨年度に比べ2割ほど減少した。相談対象者も高齢者・地区組織・一般企業などが大幅に減っており、活動の再開が始まったとは言え、コロナ感染拡大後の外出困難な生活が続いていたこと、活動の自粛・縮小が余儀なくされていたことなどが考えられる。

相談内容においては、コロナピークの令和3年に比べ、生活費の相談や健康・医療に関する相談が極めて減少している。

令和3年度 実人数割合件数

～相談対象者と主な相談内容について～



令和4年度は高齢者の相談が減り、課題分類に属さない「その他（上記以外の住民）」や、障がい者の相談微増している。

年齢別では高齢者相談が減少しているものの、70代からの相談が多い。この数字から、本人のご相談ではなく、子どもや第三者が相談対象になっていることが推測できる。

おわりに～各事業所より～

■NPO 法人 ほうじょう

当法人は、大東市立北条人権文化センターの中に事務所をかまえている法人であります。地域住民がふらっと来館し、相談がしやすい環境となっております。「人権文化センターに行って相談するのを誰かに見られたくない」「人権文化センターまでいくことが難しい」といった方のために大東市立北条コミュニティセンターにて「出張！なんでも相談会 in コミセン」や電話相談も行ってまいります。

出張！なんでも相談会
チラシ



■NPO 法人 大東野崎人権協会

昨年度より始めたなごみかふえは、どなたでも気軽に通える居場所として利用できます。なごみ畑では今年度より地域の皆様と一緒に野菜作りを始めました。

法人として深野、新田で相談ブースを設けていますが、単身高齢者等から窓口まで遠くへ行けない等の声を聞き、新たに CSW 事業として 2 か所の相談場所を設ける事にしました。(6月開始・10月開始)

又、フードバンク活動も 6 月から始める事になりました。



なごみ畑の様子



なごみカフェの様子

■NPO 法人 あとからゆっくり

昨年 1 月に津の辺区自治会の方たちと立ち上げた地域のコミュニティサロンを、CSW としても積極的に活用しています。多世代交流をうたっているこの場所で、令和 4 年度は特に子育て世代を対象にした企画に力を入れました。津の辺保育園と協働した子育て懇談会の開催や、空き家で上映会などを開催し、CSW の存在を住民、行政の方にも広く知らせることができました。重層的支援体制の構築を見据え、#相談#参加支援#地域づくりの 3 本柱が整うよう、今後も活動していきます。



コミュニティサロンゆっくり



上映会の様子

■慶生会住道

お茶のみ休憩所や、地域の皆さんの集いの場に頻りに顔をださせていただきました。そこで「笑いヨガ」や「脳トレ体操」といったレクリエーション提供等、これまでとは違った活動を行いました。

フードバンクでの食糧支援も、他地域からのご依頼がいただけるようになりました。今後も新しい取組みを取り入れ、地域福祉のお手伝いをさせていただきます。



笑いヨガの様子



グランドゴルフの様子



はちパン塾

■大東市社会福祉協議会

住民・団体・組織がつながる拠点「RiBBON」(リボン)がオープンしました。誰でも気軽に立ち寄れる居場所として開放しています。また、月に1回CSWが常駐しフードバンクや相談の場として活用しています。名前の由来は、再生や生まれ変わりを意味するreborn(リボーン)と「結ぶ」を連想するリボンをかけ合わせ命名しました。

●住所：末広町 13-29



■暮らしいきいき館

高齢者サロンや会議等は新型コロナ感染前のように再開ができましたが、弊社での集会在再開できなかったのが残念です。相談案件は8050がらみが多く、親亡きあと生活困窮の40代～50代の支援の対応が多かったように思います。

高齢者サロンは順調に再開されましたが、参加している地域住民の顔ぶれが変わったように思います。外出の機会が減ったこともあり地域で参加できるサロンがあると口コミで広がり、新たな方々が参加いただき嬉しい限りです。



てくてくマルシェでの相談会



高齢者サロンの様子

■ホーリーハート大東

コロナも落ち着き東諸福・西諸福・新田の三地区でサロン活動が再開されました。しかしコロナの影響なのかコロナ以前の人数より現在のサロン参加者人数が減っています。最近は一人暮らしの高齢者の居場所探しの相談なども来るので高齢者サロンの周知をして以前のようにサロンに人が戻ってきていただけるように校区福祉委員さんと力を合わせて頑張っていきたいと思っています。



住民研修の様子



高齢者サロンの様子

■CSW 協議会

令和4年度にはCSW協議会の知名度をあげるためマスコットキャラクターを制作しました。8か所の事業所で「はち」、みんなに愛される「パンダ」で「はちパン」と名付けました。



大東市コミュニティソーシャルワーカー協議会

NPO法人 ほうじょう

NPO法人 大東野崎人権協会

NPO法人 あとからゆっくり

慶生会住道

大東市社会福祉協議会

暮らしいきいき館

ホーリーハート大東